

平成27年度 地域密着型研究課題

| No. | 課題名 | 研究概要 | 研究期間 |
|-----|------------------------------------|---|--------|
| 1 | 腸管出血性大腸菌O26を対象とした迅速・簡便な分子疫学解析法の検討 | 腸管出血性大腸菌O26による感染症や食中毒発生時に、その感染源・感染経路を解明するために行われる分子疫学解析検査について、その解析能力、迅速性、簡便性等の向上を目的とした検討を行い、より良い検査体制を構築することにより、健康被害の拡大を防止します。 | H25～28 |
| 2 | FPE培地を用いたと畜場でのstx 遺伝子の迅速スクリーニング検査法 | stx 遺伝子を用いたと畜場での検査体制を確立します。迅速で精度の高いスクリーニング検査法を開発し、食肉の安全性を確保するとともに、感染症(人)由来の菌株との比較により、牛由来のEHECのリスクを検討します。 | H27～29 |
| 3 | ノロウイルス食中毒注意報・警報制度に係る環境水調査 | 県内の主な流域下水道への流入下水中におけるノロウイルス遺伝子量を定期的にモニタリングすることにより、各地域におけるウイルス汚染実態を調査します。また、発生動向調査(感染性胃腸炎患者数)との比較検討により、県内におけるノロウイルス感染リスクを評価します。 | H27～29 |
| 4 | 指定薬物データベースの構築と類似化合物の識別方法の確立 | 違法ドラッグ製品中の指定薬物の分析において、LC-MS及びGC-MSの測定結果から指定薬物を網羅的に検索できるデータベースを構築するとともに、類似化合物の識別方法を確立し、迅速かつ正確な分析を可能とします。 | H26～27 |
| 5 | 地下水質の地域特性に関する研究 | 県内各地の地下水及び河川水の水質調査を行い、地下水汚染の分布状況、地盤沈下対策地域における地下水の流動状況等を解析し、各地域における地下水質の地域特性を明らかにします。 | H25～28 |
| 6 | 岐阜県における大気汚染の特徴と高濃度メカニズムの解明に関する研究 | 大気中の粒子状物質について、濃度解析及び成分分析によって岐阜県特有の特徴と高濃度メカニズムを明らかにすると共に、大気汚染物質の県内への沈着量についても把握します。 | H25～27 |
| 7 | 空間放射線量の実態調査研究 | 岐阜県は、平野部から山間部までの多様な地質の影響によって、空間放射線量が一律でないと考えられます。そこで、各地の空間放射線量を測定し、地質との関連について調査・解析します。 | H27～29 |
| 8 | リサイクル認定製品のデータベース化に関する調査研究 | 既存のリサイクル認定製品の傾向やその溶出挙動等の把握、さらには、新品の材料を用いた市販品の分析を行って比較評価することにより、リサイクル認定製品の傾向や品目別の溶出特性等を解析・考察します。 | H25～27 |
| 9 | LC/MS/MSを活用したアレルギー物質検査法の開発 | 子供を中心に増加傾向にある食品アレルギー事例への検査体制を整えるため、高感度質量分析器LC/MS/MSおよび岐阜県消費者行政活性化基金で導入した専用の解析ソフトを活用し、特定原材料(卵、牛乳、小麦、そば、落花生等)に含まれるアレルギー物質を高精度に定量分析する手法を開発します。 | H25～27 |
| 10 | バイケイソウ、コバイケイソウの毒成分に関する研究 | バイケイソウ、コバイケイソウによる中毒事例に備え、植物の外見的な特徴とデジタルマイクロスコープにより得られる植物組織のミクロな特徴により植物種を特定する技術を確立します。また、中毒残品や尿・血清といった臨床検体に含まれる毒成分の濃度をLC-MS/MSにより定量する技術を開発し、中毒の迅速な原因究明と考察に役立てます。 | H25～27 |
| 11 | 食品異物検査手法の充実および開発 | 異物混入事案について、FTIR、SEM-EDSによる素材判定、LC/MS、LC-MS/MS等質量分析による高精度な化学的手法を施し、各素材について結果導出の最適な過程を確立します。また、各機器についてライブラリの充実を図ります。 | H27～29 |
| 12 | 糞便検体からの食中毒起因菌検出に関する研究 | 食中毒(疑い)事例発生時に、糞便検体から一度に多菌種が検出可能な反応系を構築し、食中毒(疑い)発生時に利用可能な検査法を確立します。 | H27～29 |